

豊岡水害を経験して

昨年の十月二十日に台風二十三号が私たちの町にやってきました。その日は、昼まで学校にいました。外はすごい雨と風で、みんなもびっくりにしました。私は六年生で二つ下に五年生の弟がいました。私と弟はいっしょに家に帰り外の様子を見ていました。雨と風はどんどん強くなる一方で弱まる気配はありませんでした。家には、母と祖母と姉と弟と私の五人で父はまた仕事から帰ってきていませんでした。

祖母や母が外を見に行く時にはもう道路にまで水がきていました。とても水の流れが速く父が帰ってくるころには玄関まで水が上がってきていました。私や姉、弟や母は下にある物を急いで二階に運びました。父や祖母は畳を上げたりしました。テレビなどの大きな物を運ぶ時はとても大変でした。物を運んでいるうちに水はどんどん外から家の中に入ってきていました。

私たちが二階へ上がる頃は父の太股くらいまで水がありました。

朝、起きると一階はグチャグチャで机や冷蔵庫などがたくさんこけて、泥だらけでした。その日は、構の祖母の家に泊めてもらいました。でも、多くのやさしい人たちのおかげで私の家の周りの道路や家は今、とてもきれいになっています。

私は、水害を経験してとても恐しい思いをしました。でも、そのことを忘れず、次の水害などに役立てたいです。そして、水害にあった私たちに力を貸してくれた多くの人に感謝の気持ちでいっぱいです。